

平成24年度 第1回

公共事業評価監視委員会

[資料 4]

地域連携推進事業  
一般国道168号 <sup>つじどう</sup>辻堂バイパス  
奈良県（道路建設課）

1. 再評価対象事業一覧表
2. 事業評価項目一覧表
3. 説明資料



### 事業評価項目一覧表

| 事業名   | 地域連携推進事業 | 事業主体 | 奈良県    |
|---|----------|------|--------|
| 河川・道路名等   | 国道168号   | 事業箇所 | 辻堂バイパス |
| 評価項目及び評価内容  |          |      |        |
| <p>事業の目的及び必要性</p> <p><input type="checkbox"/> 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光・地域産業の振興、緊急医療支援</li> <li>・ 地域高規格道路「五條新宮道路」の一部として、紀伊半島アンカールートの確保</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅員狭小及び線形不良の解消、大規模災害等による迂回の解消</li> </ul> <p style="text-align: right;">(資料 p. 5、6・13～20)</p> |          |      |        |
| <p>事業策定の経緯</p> <p><input type="checkbox"/> 当時の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅員狭小で線形不良、崩土落石の危険箇所が多く、早期の改良が必要な状況</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 着手までの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成6年に五條新宮道路が地域高規格道路に指定</li> </ul> <p style="text-align: right;">(資料 p. 13～16)</p>                                      |          |      |        |
| <p>事業の効果(費用対効果や施策的な効果など)</p> <p><input type="checkbox"/> 計画時の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>B/C = 2.8</math></li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 現時点の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>B/C = 1.0</math>      2工区 <math>L = 0.2</math> km 部分供用      (資料 p. 13～26)</li> </ul>                           |          |      |        |
| <p>事業の進捗状況(着手時からの社会経済情勢の変化、事業の問題点、克服度など)</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業進捗率：約71% (用地買収率：100%)</li> </ul> <p style="text-align: right;">(資料 p. 28、29)</p>   |          |      |        |
| <p>事業進捗の見込み</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性、事業進捗状況から継続が妥当、早期の完成を目指す。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年度事業完了予定      (資料 p. 33)</li> </ul>   |          |      |        |
| <p>事業の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年度の完成を目標に早期の事業完了に努める。      (資料 p. 33)</li> </ul>  |          |      |        |
| <p>その他</p> <p><input type="checkbox"/> 関連事業の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川津道路    ・ 十津川道路、長殿道路 (国施工)      (資料 p. 31)</li> </ul>   |          |      |        |

## 地域連携推進事業

# 一般国道168号 つじどう 辻堂バイパス

奈良県土木部道路建設課

1

## 目次

- 周辺の状況
- 事業の概要
- 事業の目的と効果
- 事業評価
- 事業の進捗状況
- これからの取り組み
- 今後の方針

2

# 周辺の状況

## 周辺の状況(一般国道168号)



国道168号は、和歌山県新宮市を起点とし、大阪府枚方市に至る延長約175km（奈良県域約121km）の主要幹線道路

北・中和地域においては、西名阪自動車道や国道25号、国道165号、中和幹線など東西幹線道路と接続する道路であり、日常生活や産業活動を支えるうえで欠くことのできない道路

南和地域においては、世界遺産をはじめとした観光・地域産業の振興や緊急医療支援・大規模災害時などの緊急輸送道路として地域にとって必要不可欠な道路

# 周辺の状況(災害に強い道づくり)



# 周辺の状況(国道168号南部)

## 【国道168号の状況】

・現在、国道168号では、国、県併せて4つの工区で、事業が行われている。



# 事業の概要

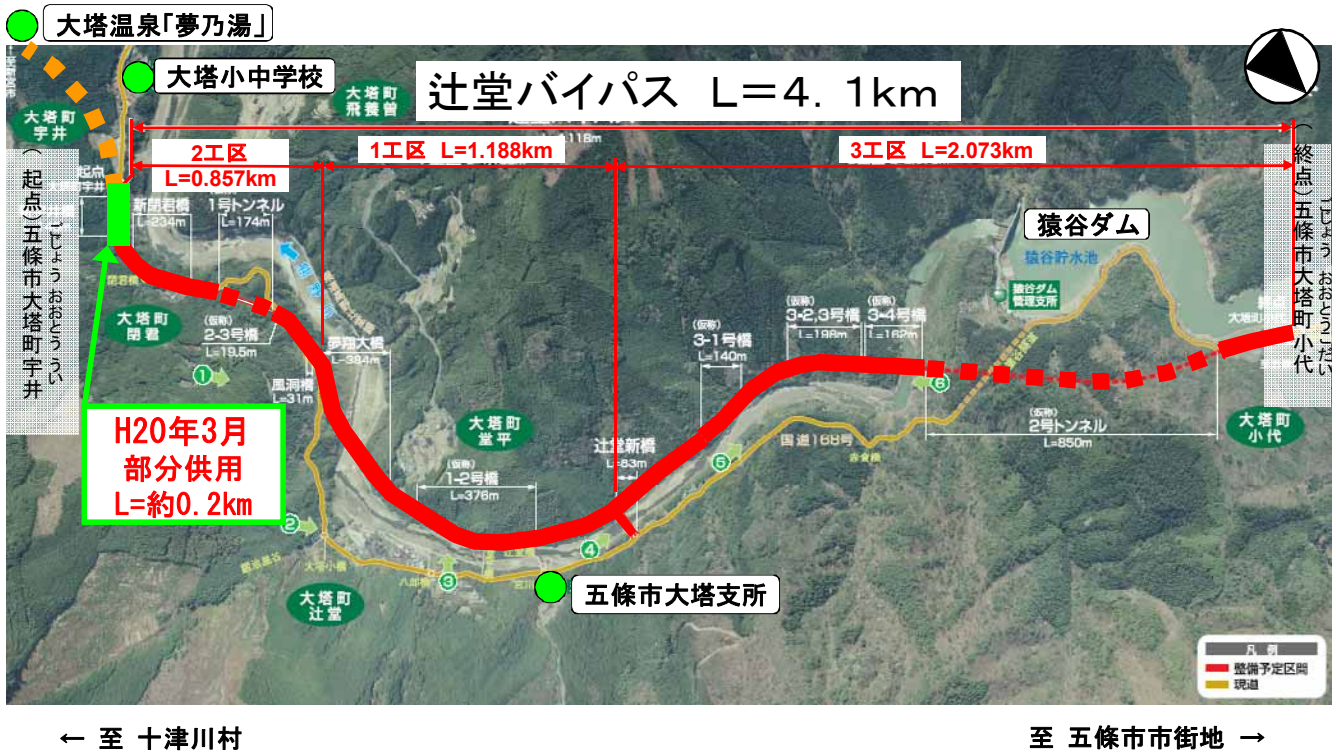
7

## 事業の概要

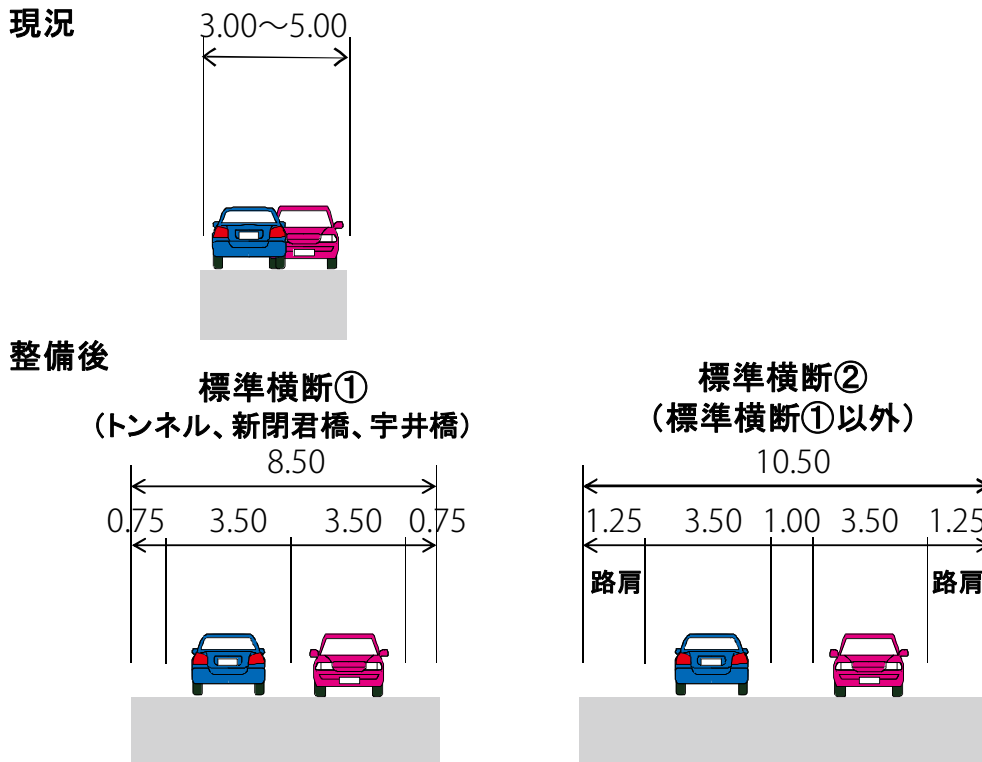
**路線名** : 一般国道168号 辻堂バイパス  
**事業区間** : 自) 奈良県五條市大塔町字井  
: 至) 奈良県五條市大塔町小代  
**計画延長** : L=4.1 km  
**構造規格** : 第3種第2級  
**設計速度** : V=60 km/h  
**車線数** : 2車線  
**道路幅員** : W=10.5 m (トンネル部等8.5 m)  
**事業化年度** : 平成11年度  
**全体事業費** : 約260億円

8

# 事業の概要(計画平面図)



# 計画の概要(標準横断面図)





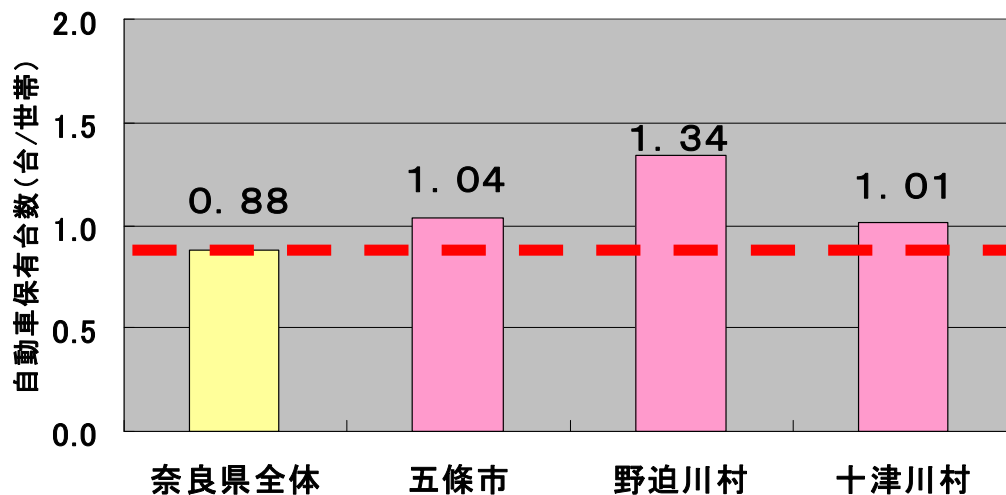
# 事業の目的と効果

## 地域の状況

### 自動車保有台数

- ・県南部地域の自動車保有台数は、奈良県平均より高い。
- ・国道168号沿線は鉄道がないことから、自動車への依存度が非常に高いことが伺える。

1世帯あたり自動車保有台数(H21年)



出典：平成22年度 奈良県統計年鑑

## 事業の目的と効果

### 幅員狭小の解消

車両のすれ違いが困難(最小幅員 $W=3.0m$ )、  
歩行者にも危険が伴う状況



五條市市街地

車両のすれ違いが困難  
(大塔町辻堂地内)



五條市市街地

H23紀伊半島大水害により暫定供用した区間  
(大塔町辻堂地内)

13

## 事業の目的と効果

### 線形不良の解消

線形不良による危険な通行状況



新宮市

線形不良箇所  
(大塔町閉君地内)



新宮市

H23紀伊半島大水害により暫定供用した区間  
(大塔町辻堂地内)

14

# 事業の目的と効果

## 災害に強い道路

辻堂バイパスの現国道区間における通行止め

・H16年8月 宇井地区災害 約3年7ヶ月間

・H20年10月 小代地区災害 約1ヶ月間

宇井地区崩土状況



小代地区崩土状況



・H23年 台風12・15号の豪雨により、国道168号が被災 約10ヵ月間

※平成24年6月末現在

崩土状況



15

# 事業の目的と効果

## 災害に強い道路



○57日間にわたり一般車両通行規制  
⇒国道425号、169号を走行する  
大規模迂回

(※バイパス区間に応急迂回路を設置  
出来たことにより、規制解除が実現。)

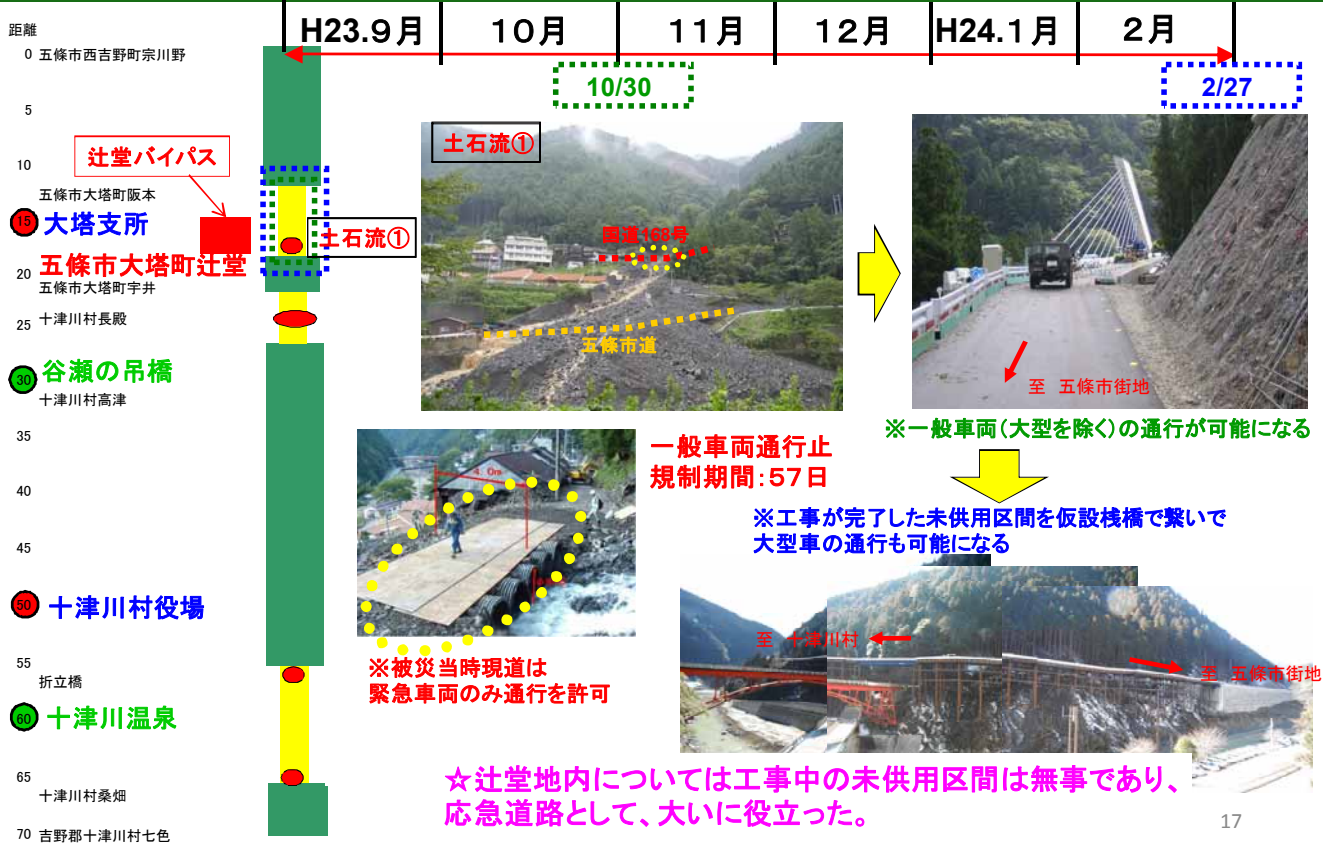
○十津川村役場～五條市役所間  
通常：約1時間50分  
→迂回：約3時間10分



通行止発生時の迂回路(一般国道425号)

16

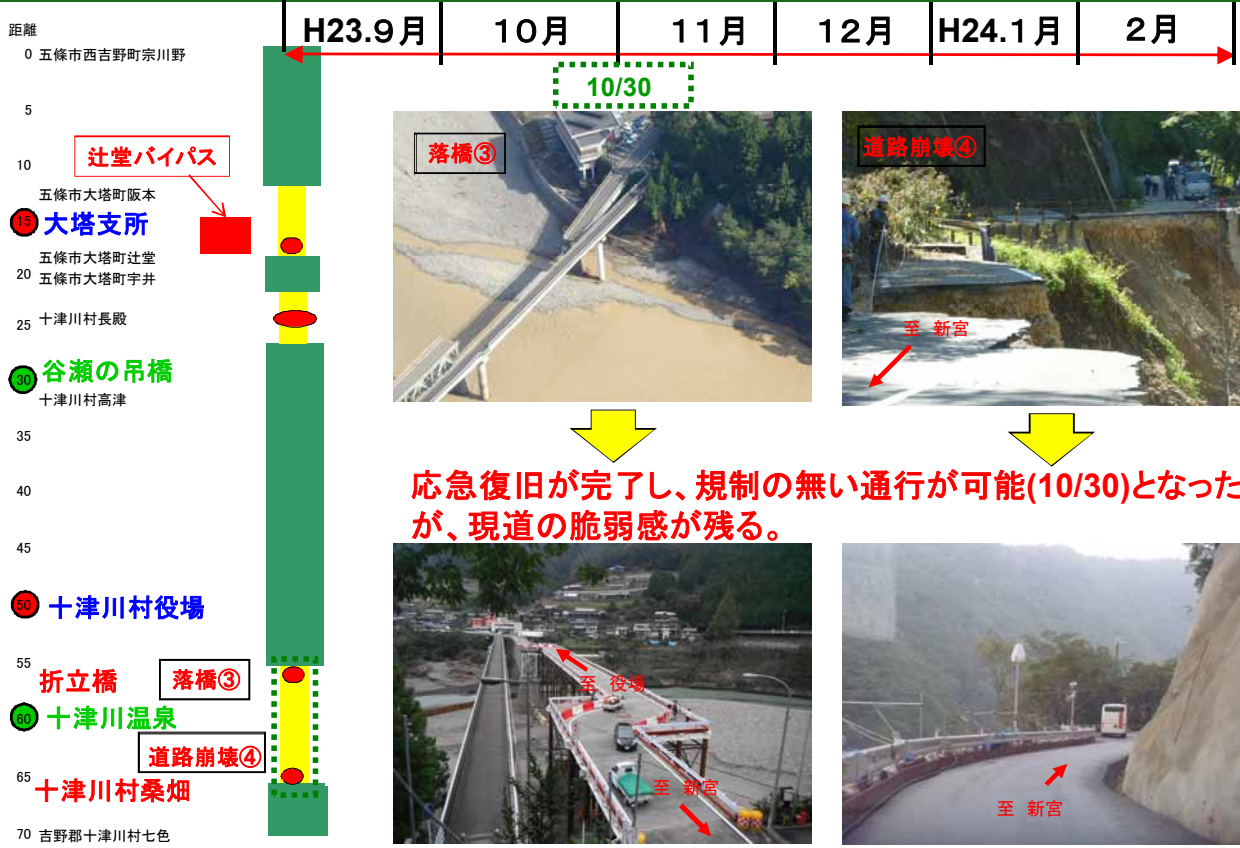
# 紀伊半島大水害時の国道168号での対応状況①



# 紀伊半島大水害時の国道168号での対応状況②



# 紀伊半島大水害時の国道168号での対応状況③



# 紀伊半島大水害時の国道168号での対応状況④



# 事業評価

21

## 再評価時との比較

### 五條市

- ・世帯数 13,833世帯(H20)→13,861世帯(H22) 28世帯(0.2%)増
- ・人口 35,537人(H20)→34,449人(H22) 1,088人(3.1%)減

出典:平成20、22年度 奈良県統計年鑑

### 事業計画等

- ・事業費 約207億円(H20)→約260億円(H24) 約53億円増
- コスト増
- (紀伊半島大水害の影響による増額 約17億円増)
  - (宇井の地すべりを契機に進められた国道168号の詳細な斜面調査に基づく構造変更やその他工法変更等 約38億円増)
- コスト減
- (1号トンネルの幅員縮小、建設発生土の現場内流用 約2億円減)
- ・完了年次 平成27年度

22

# 費用便益分析①

## ○計画交通量と事業費

|       |          |
|-------|----------|
| 計画交通量 | 2,700台/日 |
| 事業費   | 260億円    |

【参考】

前回評価時※の計画交通量 2,700台/日  
 前回評価時※の事業費 207億円

※平成20年度(再評価)評価

## ○費用便益分析結果

|      |         |
|------|---------|
| 事業全体 | B/C=1.0 |
| 残事業  | B/C=8.4 |

【参考】

前回評価時※事業全体B/C=1.3

※平成20年度(再評価)評価

注) B、Cは、評価時(平成24年度)の価値に換算している。

## ○便益(B)の内訳

|      | 走行時間短縮便益 | 走行経費減少便益 | 交通事故減少便益 |
|------|----------|----------|----------|
| 事業全体 | 217億円    | 44億円     | 2億円      |

23

# 費用便益に計上していない効果

## 工所用栈橋を仮設迂回路に活用

未供用の工事区間において、工所用栈橋を仮設迂回路として活用したことで、大型車の広域迂回が解消された。

紀伊半島大水害後、大型車は広域迂回を強いられた。

平成24年2月27日

工所用栈橋を活用した仮設迂回路を供用



五條市大塔町辻堂地内

24





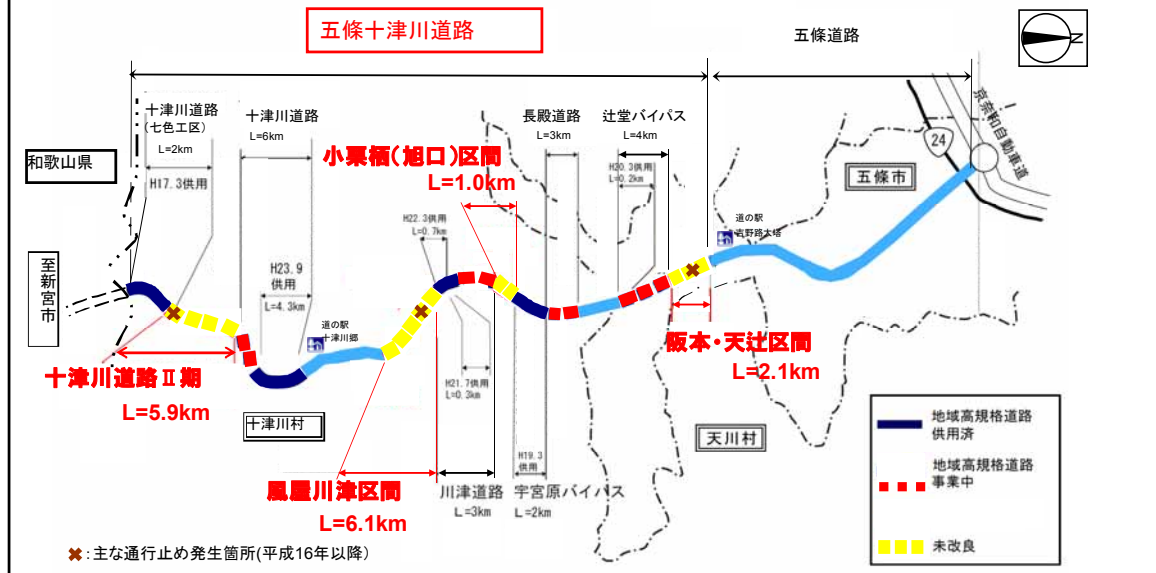




# 紀伊半島アンカールートの早期確保に向けた動き

## 【国道168号五條十津川道路の課題と状況】

- ・地域高規格道路の整備が進む一方で、いまだすれ違い困難な未改良区間が取り残されているのが実情。
- ・直轄権限代行として、五條市大塔～十津川村までの間(既事業化区間を含む)を一括にした早期事業化を要望する。



## 今後の方針

# 今後の方針

## 進捗見込み

平成27年度 事業完了予定

## 対応方針案

辻堂バイパスは、事業の必要性、事業進捗状況から  
継続が妥当と判断  
引き続き事業を推進し、早期の完成を目指す。

**事業継続**